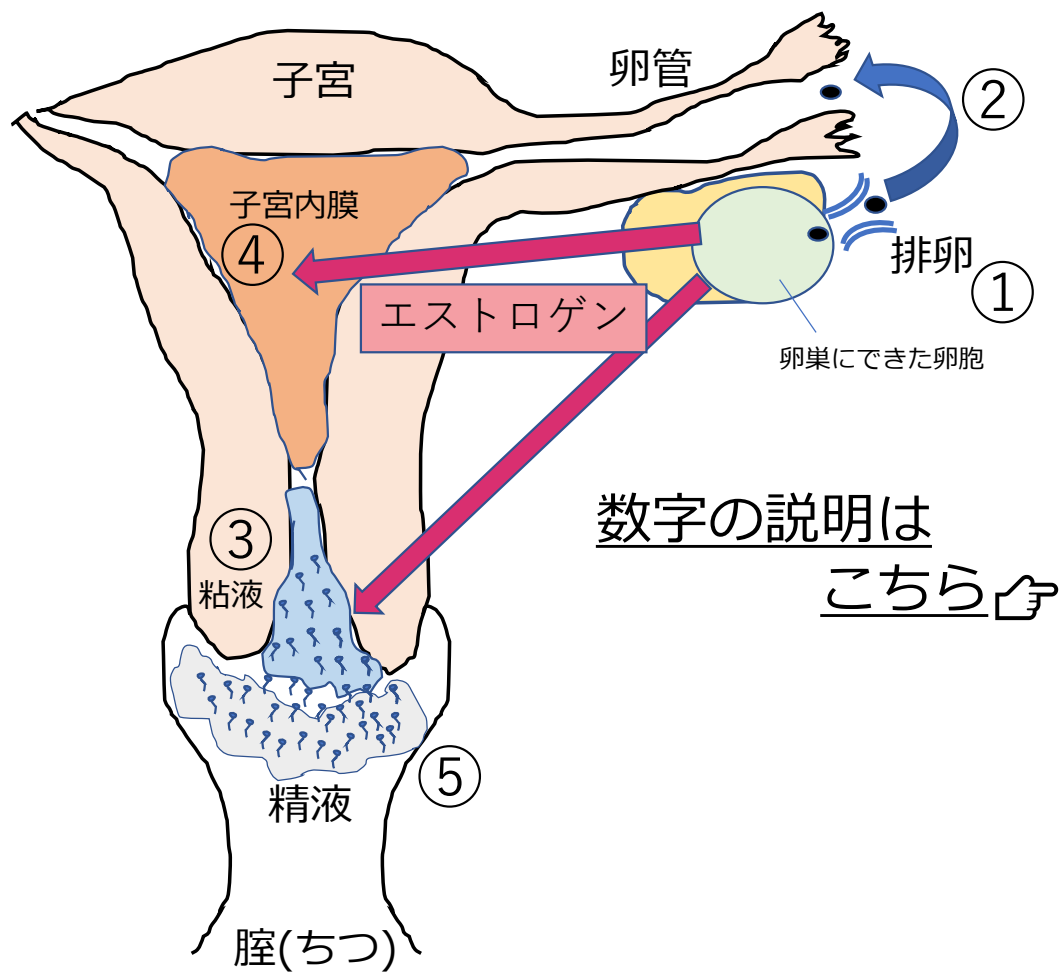


妊娠のしくみを知っていますか？

★まずは「生理（月経）とは何でしょうか」をご覧ください

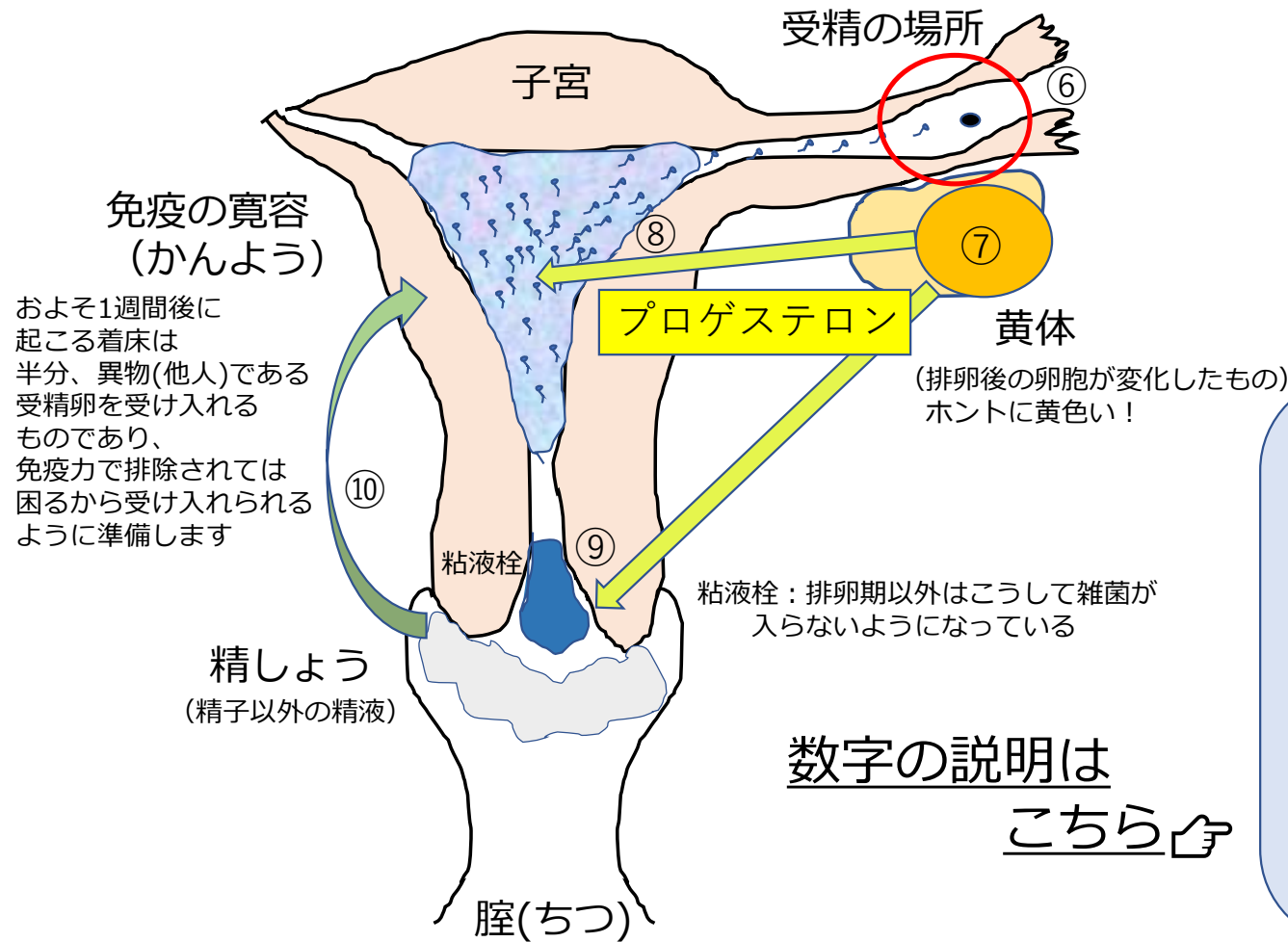
排卵期：生理の始まりから2週間目※くらいに・・・

※生理が30日くらい毎にくる場合



- ①卵胞が良好に育ち、**排卵**すること
- ②おなかの中に排卵した**卵子**が**卵管**に取り込まれること
- ③卵巣からの**エストロゲン**の影響で子宮から出る粘液が増えて**生卵の白身**のようになっていること（精子を迎え入れるため）
- ④卵巣からの**エストロゲン**の影響で子宮内膜が**厚く**なっていること
- ⑤このタイミングで射精された精液が膣に入ること。精液は**十分な量**、十分な**精子の数**、精子に**活発な運動能力**があること

排卵後：黄体期の始まり・・・



排卵された卵子

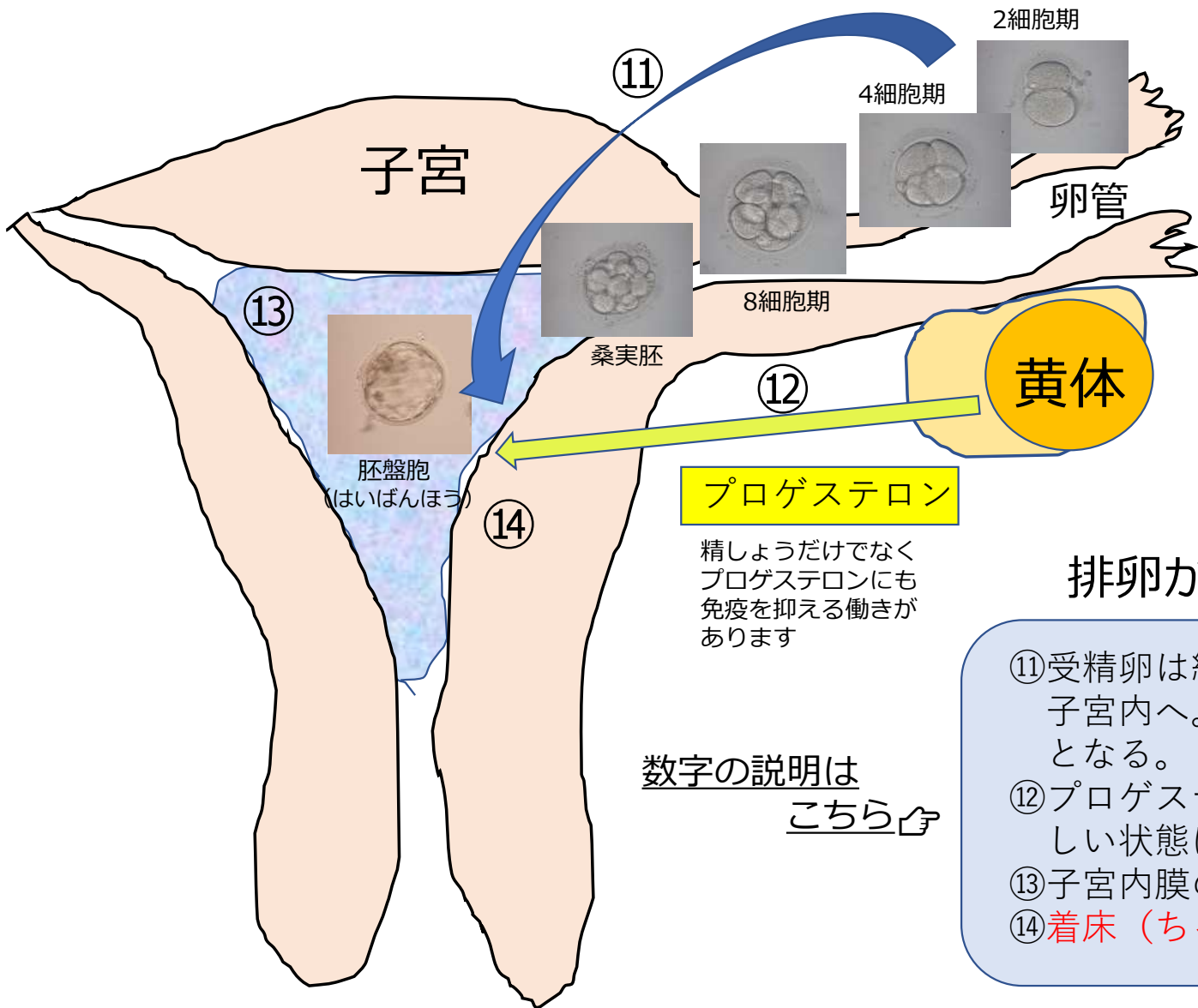


受精卵



- ⑥卵管に取り込まれた卵子が1つの精子と受精する：**受精卵**
- ⑦排卵後の卵胞が黄体になり、黄体ホルモン（**プロゲステロン**）を出す
- ⑧プロゲステロンが子宮内膜を厚く、みずみずしくする：「**羽毛布団**」状態
- ⑨プロゲステロンが子宮口の粘液を固め、**栓**をする（雑菌をシャットアウト）
- ⑩腔の奥に溜まった**精しょう**が子宮に「**免疫の寛容**」を働きかける

数字の説明は
こちら👉



排卵から約1週間で着床へ

- ⑪受精卵は細胞分裂を繰り返しながら卵管から子宮内へ。子宮内では**胚盤胞 (はいばんほう)**となる。
- ⑫プロゲステロンが子宮内膜を厚くみずみずしい状態にしている：「**羽毛布団**」状態
- ⑬子宮内膜の「**免疫が寛容**」になっている
- ⑭**着床 (ちゃくしょう)**する

数字の説明は
こちら👉

プロゲステロン

精しょうだけでなく
プロゲステロンにも
免疫を抑える働きが
あります

子宮

黄体

卵管

2細胞期

4細胞期

8細胞期

桑実胚

胚盤胞
(はいばんほう)

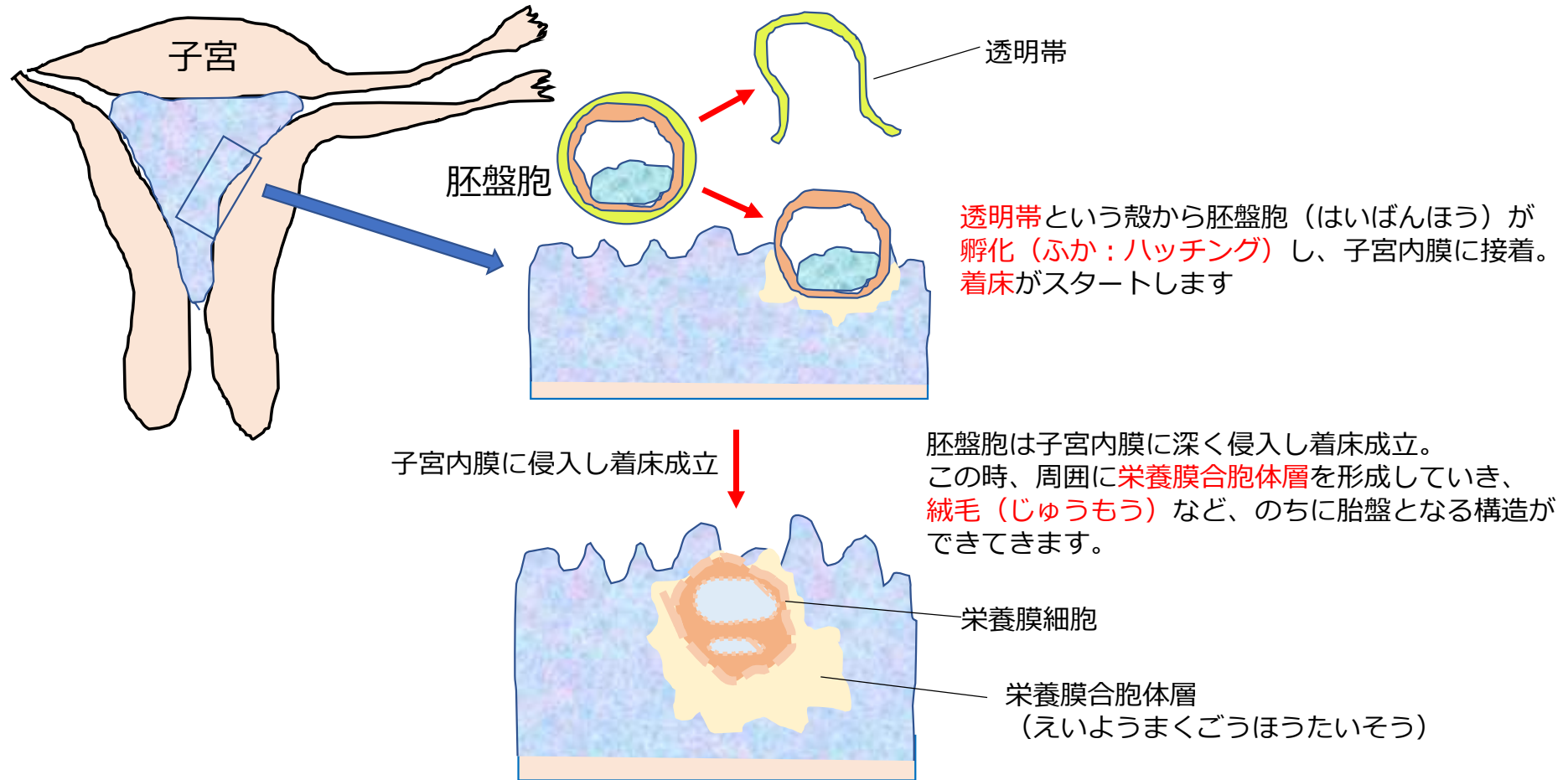
⑪

⑫

⑬

⑭

着床（ちゃくしょう）：生理の始まりから3週間目くらいに・・・



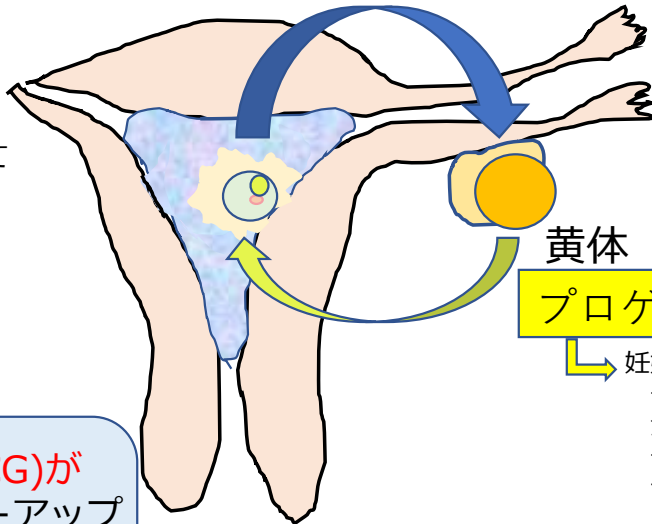
妊娠5～6週

妊娠検査キット



hCGを「妊娠反応」として尿で検査します

絨毛性ゴナドトロピン(hCG)



黄体

プロゲステロン

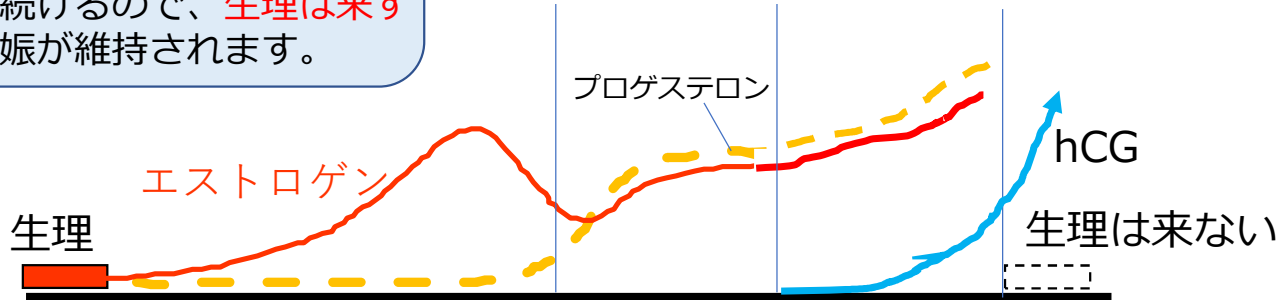
妊娠維持のために・・・
子宮内膜機能の維持
免疫機能を抑える
子宮収縮を抑える
母体に水分を溜める
(基礎体温は高温に)

妊娠のホルモン(hCG)が
黄体を刺激しパワーアップ
しプロゲステロンを分泌
し続けるので、**生理は来ず**
妊娠が維持されます。

妊娠2週

妊娠3週

妊娠4週



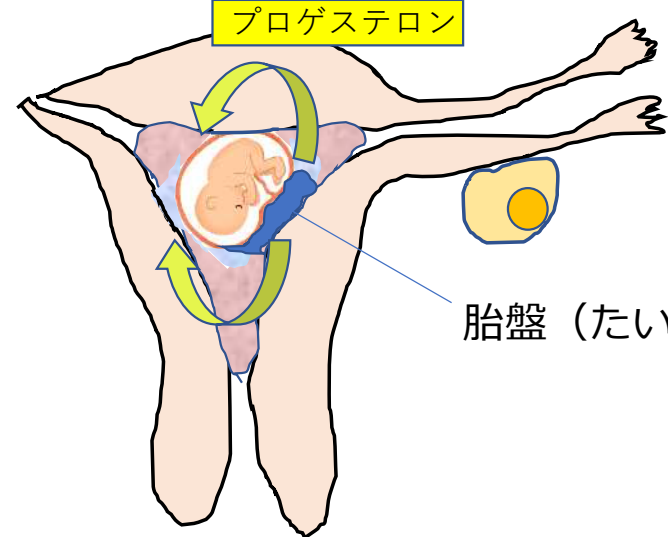
★生理が1ヶ月周期の女性の場合

排卵

着床(妊娠スタート)

妊娠10週～

プロゲステロン



胎盤 (たいばん)

実際に子宮の中で妊娠が始まるのは
生理から3週目です。hCGの黄体刺激は
妊娠10週くらいがピークでその後は
胎盤からのプロゲステロン分泌が始まります。
つまりお母さんの卵巣に頼ることなく、以後は
胎盤が赤ちゃんを守るのです。

分娩予定日は妊娠40週0日です

